

古い

【最初の最初にオリジナル主義宣言】

価値打ち

新品だったらそんなに悩んで買わなくてもいいじゃないス
か、なんで
そんな

の通りでございます。あ、ご紹介が遅れまして申しわけござ

いません、ワタクシ岡田と申しまして、古い腕時計やカメラを東京で売ったり買ったりして細々と生計を立てている者なんでございますね。え？ 儲かるかって？ マッタ

ク儲かりません、全然儲かりませんよ、イヤ、嘘じゃないですよ、だって真面目にやってますからね。この稼業は真面目にやればやるほど儲からないように出来ているんです。イヤ、これも

本当の話です。これからワタシがお話することは全て経験上のお話と、ワタシが商売をしてきているいろんな人を見てきたその上で自分なりに解釈をしてきたお話をしますからね。まず古い腕時計の値打ちはどこにあるのか、ということからいってみましょう。まずは工業製品としての見地から考えて見ますとね。

ホラ、工業製品じゃないところで分かり易く例えると絵画とかあるじゃないですか、何故ひとは絵1枚に10億円

【Ref.2940】
【Cal.9³/₄】

これはロレックスの最初の自動巻き機構の入った時計です。自動巻き時計というのはローターという振りが機械に付いているんですね。その振り子を内蔵するために時計の裏が膨らんでいます。ですからバブルバック、と、呼んでますね。

も払うんでしょうかね？ イヤ、

よ、それが1枚しかないから

いからですか？ その絵が

からですか？ なんか理由

つちやあ、そうですしね、

つちやあ、感じですね。

根本的な、ひと

為に對しての對

いうところを考

これはロレックスのプリンスという時計で70年から80年くらい造られてからたってる時計なんですけどここまでキレイな個体はそうそうお目にかかれませんか。文字盤も、リュウズもオリジナルの状態を保っています。

【Ref.1490】
【Cal.7¹/₂】

これは真面目な質問です

ですか？ 再現性がな

ひとの心を震わせる

としてはどれもそう

どれも希薄な感じ

そのもつともつと

はなぜそのモノや行

価を支払うのか、と

えていってみましょう。

オリジナル主義8カ条

1 古い腕時計はまずコンディション

古い腕時計というのは平気で30年以上時を経ているものが多いんです。外観がキレイ、つまりあんまり使われていない状態の時計は、総じて文字盤や、機械のコンディションが良いことが多いんです。

2 違和感を見抜け！

ケースが磨かれすぎてラグがやせ細っちゃってるのに、文字盤だけが妙に程度がいい。針だけがヤケにきれい。なんていう時計は全体を良く見ると違和感を憶えるものなんです。文字盤の状態がイイと、結構その時計のコンディションが良く見えてきちゃう、ということも憶えておいてくダサイね。

3 時間は出せる

店頭に並ぶ時計は入荷したてだったり、永いこと在庫になっていたりして機械の前歴もまちまちです。どんなにコンディションの良い時計でも、永いこと腕にされなかったりしてゼンマイが張り付いたりしてただで時間は出ません。でも大抵の機械はオーバーホールすれば直ります。それよりもあとでキチンと面倒見てくれるお店探したほうがずっとババイですよ。

4 出合いは気合いだ

古い腕時計というのは、ひらたく言えば中古品なんです。同じコンディションのものが無い、と考えるください。どうせ金で済む話なんですよ、どうやっても買えないときはハナっからあきらめが付きますけれど、どうにかやりくりをしたら買える、何かを犠牲にすれば手が届く、なんてときに出会いのあったその時計を買わないと、買わなかったことの後悔の波があとからあとから襲ってきますよ、でもって後で探してもそんな時計は出てこないのね。これは実話ですね、トホホ。

5 店のひとを活用しなさい

ダイジョーブですよ、そんな、ちょっと質問したくらいで買わなきゃならん状況には追い込まれないですよ。逆にアナタのほうが店の雰囲気だとか、その店のひとの時計に対する愛だとか知識を知りたい機会ですよ。ああ、このひと実は古い時計のこと何にも知らないんだな、だとか、へえー、今の時計に使ってる油は昔のより全然性能がいいから毎日巻かなくても平気なんだ、なんてね。知ってた？

6 好きなひとから買いなさい

これはどんな世界でもそうなんですよ、そのモノが持つおいしい部分、つまりツボを知ってるんです。ただ好きとは言っても好き過ぎて話し出すと話の一時停止ボタンが壊れちゃってるひとに捕まっちゃうときもあります。好きが故の盲目的な行為ですから。嵐の過ぎるのを待ちましょう。ワタシの場合は海外の時計ディーラーのひとによくやられちゃったりしますね。

7 あはたもえくぼだ

ほかは完璧なのにここだけ惜しい！なんてコンディションのモノがよくあります。そりゃ古いものですから完璧な状態で出てくる、と、いうのは限りなく狭い門になってしまうんです。でも売っているワタシの側から見てそういう完璧な状態の時計がいつかは出てくる、と想いながら日々仕入れをしてるんです。まずは悩むくらいほかの状態がイイ訳ですから、買いましょう。その時計も後になってはそうそう出てこないくらいのコンディションかもしれません。で、更にいいコンディションの時計が出てきたら迷わずその持っている時計を下取りに出して更にいい状態の時計を買いましょう。このやりかたはコレクションの王道的な手段です。人生もそうやって昇華してって完璧な死体へと向かっていくんです。って、誰の詩だったっけか。

8 自分の買ったものを正当化するな

そりゃ、こんな商売をずっとやってるワタシだって最初は仕入れで地雷を踏んつけたことも多々ありましたよ。ロレックスのスポーツ系ではかなり勉強させられたなあ。もしアナタがコレクターとして、10年たって幾許かの自分のコレクションを振り返ってみると、おかしいものが結構あることに気付いたひとは、同じ轍を踏まないひとです。誰でも自分の持ち物がおかしいモノだなんて、想いたくありません。でも商売をしていて思うのは、そうやって自分にも厳しいひととスゴイ時計のコレクションを持っていることが殆どですね。

BUBBLE BACK

[Ref.2940 Cal.9 3/4]



上右／おお、この裏蓋はバブルっぽいのが良く判る画像ですねえ。こんなに盛り上がっているように見えても腕にすると良く馴染むんです。バブルバックはめんこいですよ。めんこい。上中／これがバブルバックの機械としては最終型となります。ローターに2段階の傾斜が付いているでしょ、効率よく、薄く見せるための努力のあとです。上左／この頃から品番が裏蓋の裏側のこの位置に打刻されるようになっていきます。見ていくと大体1940年代中頃辺りからです。この刻印は。中右／このリュウズもバブルバックとしては最終のデザインです。1955年頃までが一応定義としてはバブルバック、と呼ばれています。勿論、ムーブメントはその後も搭載されつづけますがバブルバックとは呼びません。



1940年代製

これはオリジナルのローマ・アラビックダイアル、ユニークダイアルなんて呼ばれているデザインの文字盤ですね。だいたい傷んでいるようにみえますが、この文字盤の元の色がシルバーマット、というスゴク傷みやすい色の文字盤だからなんです。このシルバーマットとブラックマット

か、このアラビア数字とローマ数字が混ざっているデザインの文字盤とかは冷静に考えると当時売れるワケもなく、今となってはヒジョーにレアな文字盤のひとつとなっているワケです。ワタシもこの個体と、ブラックマットの金無垢の2本しか過去に販売したことがありません。ロレックスはこの文字盤の意匠登録を1942年にしています

ているタイプ、1940年頃までのタイプでこのユニークダイアル、というのは時代的にはあり得ません。事実過去に見たスモセコユニークは全て書き換えていた。(黒文字盤でね、高く売れるからね) ただし絶対と言い切れないのがロレックスの世界、いつか見てみたいもんです。でも今見るとやっぱりスゴク斬新なデザインですよなえ。ユニークダイアルって。

んでスモールセコンド(秒針が文字盤の下)の下のサ

077

BUBBLE BACK

[Ref.2764 Cal.9 3/4]



上右／この頃は裏蓋に品番と製造番号が打ってあります。これが製造番号だけの時代もあります。いずれにしても初期のバブルの特長です。上中／ああ、ローターにパテント、自動巻き機構の特許を示す旨の打刻がありますね。裏蓋の裏側にも、もう初期のバブルはとにかくパテント打刻だらけです。特許特許だぞ！ マネすんなよ！ というワケです。中右／そして、リュウズにもパテントの刻印。オイスターケースとオイスターリュウズは特許だぞ！ と、このリュウズは何気にレアだなあ。



1940年前後製

自動巻きの機械にはローター、と呼ばれる振り子が付いています。そのローターの厚みで裏蓋が泡のように盛り上がり、上中／ああ、ローターにパテント、自動巻き機構の特許を示す旨の打刻がありますね。裏蓋の裏側にも、もう初期のバブルはとにかくパテント打刻だらけです。特許特許だぞ！ マネすんなよ！ というワケです。中右／そして、リュウズにもパテントの刻印。オイスターケースとオイスターリュウズは特許だぞ！ と、このリュウズは何気にレアだなあ。

バックに搭載されるムーブメントにも結構変遷があるんですが、少しずつつ薄く造ろう、とする努力のあとがあり、その文字盤の種類と相まってロレックスの最後に行き着く先はバブルバックとなっているんです。このモデルは搭載されているムーブメントとしては3番目の機械が入っていますね。で、ケースは初期の造り方の3つのパーツからなる3ピース、と呼ばれるケー

ス、と

ス、と

ス、と

ス、と

ス、と

ス、と

ス、と

ス、と

ス、と

ス、と

ス、と

076

[Ref.NA Cal.1000]



プレスが鋳打ちのフツ
ーの20ミリというところ
が泣かせますよねえ、
裏蓋には1960年1月
23日の日付が刻まれ
てますね。トリエス
テ号、偉業の日です。



で、なんでコンビモデル造っちゃうのよ、ロレックス。特殊用途やないんかい！ あ、この金の部分は9Kですね、このモデルは。でもこれも深海において金素材がどのような変化をするのか？ なんて理由があったかもしれないんだよなあ。



マリナー
の防水性能で
は足りない、というプロ
フェッショナルユースの要求に
答え、1960年代後半にシー
ドゥエーラーを発表したロレックス

マリナー
の防水性能で

でも今もこの名前で売ってるんですよえ、ロレックス。ディープシーチャレンジ、という更に防水性を高めた（1万2000メートル）シードウエラーを映画監督のジェームズ・キャメロンさんに2012年に造っちゃってますよ。ロレックスは防水性能がウリなんので、潜水用の時計は古くからあります。サブ

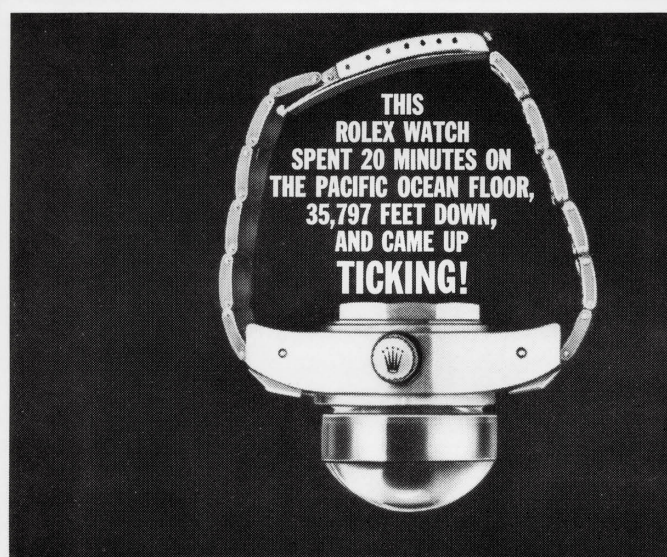
開発を進めていった、ということがよく判りますね。でもシードウエラーに付いているヘリウムガス抜きバルブが見当たらないんだよなあ、このディーブシースペシャルには。どうやって浮上時のヘリウムガスに対処してたのか、一回バラして中身を見てみたいもんです。



Photo/Smithsonian Museum

広告を讀む

DEEP SEA SPECIAL



No idle claim, this . . . to test its famous water and pressure-proof Oyster principle, Rolex attached this Oyster Perpetual to the *outside* of the bathyscaph "Trieste" when it made a record dive into the Marianas Trench near Guam, on January 23, 1960.

The standard Rolex chronometer movement, in a special Rolex Oyster case, withstood pressures of over *six tons per square inch, maintained perfect accuracy throughout and after this grueling test!*

The same outstanding Rolex craftsmanship that produced the "bathyscaph" watch, (now in the Smithsonian Institution in Washington) is applied with equal effectiveness to the Rolex Submariner, available at Rolex jewelers everywhere, and relied upon by experienced skin divers the world over.

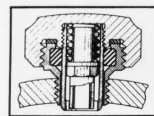
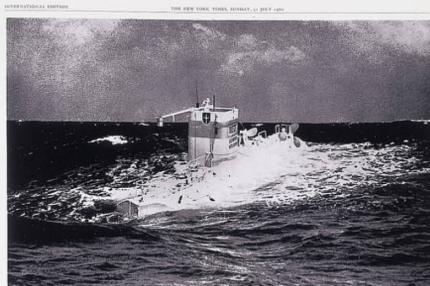


Diagram of the Rolex Oyster crown showing the two interlocking and self-sealing planes which slide together, assuring a completely water and pressure-proof seal.



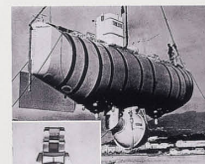
11 km. di profondità...
Pressione superiore ad una tonnellata per cm'...
Un Rolex Oyster ALL'ESTERNO del batiscafo «Trieste»!

NEL Pacifico, presso l'isola di Guam, la fiera delle Manta s'abbinò sempre più profondamente con le acque d'avorio delle scienze le battute epigrafiche, ricominciando, due studiosi cinesi giunsero a guardare nella miniera colata del Trilone. (15 e 17)

Trilone: il fondo del mare, a circa 3100 metri, dopo 44 metri. Per vari motivi saranno negli abissi dell'Oceano, le loro piccole chiglie sospese ad una pressione superiore ad "ottanta per cm". Rialzando impingendo i 5 e 31 metri. Dalle 10 ore a 12 minuti dell'operazione i valori esploratori vengono

All'estero del bacinato, il movimento di un annuale concorso di pubes Eules, rinchiuso in una casa studiata per le elezioni affianco con successo prese identiche a quelle del Trieste. I

Lettere comunicate erano inviate prima e subito nelle nostre



ROLEX



ROLEX SUBMARINER—guaranteed water and pressure-proof to a depth of 660 feet*, super shock-resistant, with self-winding 25-jewel certified chronometer movement. Revolving bezel registers elapsed time, hands and dial are extra luminous for utmost visibility in deep water. With new protective Crown-Guard and matching bracelet, \$180.00. 17 jewel model, pressure-proof to 330 feet*, \$150.00. Also by Rolex, the Tudor Submariner, pressure-proof to 660 feet*, \$127.50. (including federal tax)

デュープシースペンシャルです。ねえ。製造本数が7本とも9本とも言われてる特殊なロレックスですが、固有の製造番号を与えられていて、そこから察すると実際はもうちょつとあると推測されます。1960年の1月にトリエステ号という潜水艇の外板にこの時計を装着して、1万メートル越えの深度まで到達したという記録を樹立した潜水時計です。とは言っても少量しか生産されてませんので、この広告にはちゃんと下にサブマリーナの5513も出てますね。こちらをお買い求めクダサイね、てな感じですかね。やつぱり商売上手だよなあ、ロレックスは。



The case of the Rolex "Trieste" model was made specially for this dive but was constructed in accordance with the same waterproof principles used for all Rolex Oysters; this case contained a standard Rolex wrist-chronometer movement.



ROLEX

THE ROLEX WATCH COMPANY LIMITED
THE AMERICAN ROLEX WATCH CORP. 580

ロレックスの最高傑作、1570

1965年に1570という品番のムーブメントが誕生します。この今となつてはロービートの機械はその後80年代半ばまで、ロレックスの主力でありました。この1570は今まで数々の本でその傑作ぶりを紹介されています。ここで、ここでは時計の機械はどこに値打ちがあるのか？というところを皆さんと考えたいのです。ワタシ自身は中古時計屋ですんで、壊れない機械が最高です。修理で戻ってきませんからね。それと自動巻きならば巻き上げ効率のよい機械がこれまた最高です。この時計巻かないよ、なんていつて戻ってきませんからね。それこそ何百万円もする腕時計なのに中身の機械があまりにも安普請の時計も結構ありますし、設計はいいのに機械そのものの精度が悪いんじゃないか？なんて機械も結構あります。時間の

計測機である時計の精度を上げるには、単に振動数を増やすばかりではダメだ、というのがいろんな時計を販売してきてだんだんわかってきたんです。この振動数というのは時計の機械の中にあるテンプ、と呼ばれる部品の回転数を指すんですが、このテンプは往復運動をしていますんで1秒間に5・5往復すれば5・5振動、1時間に1万9800振動ということになります。この1570というムーブメントはその1万9800振動です。その振動数は現代の時計の基準からすれば決して高振動ではなくて、その後のロレックスの主力ムーブメントとなる3000系、と呼ばれる機械は2万8800振動まで振動数を引き上げています。これは精度の追求のためにそうなつていったんです。が、振動数を上げると機械の耐久性は短くなります、それだけ消耗する部品が増えるからです。その精度と耐久性の妥協点の頂上が1570だとワタシは考えています。



SCOOP!!!!!!

いや〜、生きててホントによかったなあ
こんな腕時計に出会えちゃうんだからさ

DAYTONA [Ref.6239 Cal.72B]

まずはこのデイトナをお持ちのあなたのご協力に心より感謝いたします。ご本人の希望でオーナーさんの詳しいことは書けないんですが、彼のお父様が新品で購入してそのまま引き継いでいる、という個体なんです。ワタシもそんな家に産まれたかったもんですからねえ。でもってこういう時計を新品で購入している位の「家庭なワケ」です。今現在に至る、という状態だったんです。事実この個体の撮影でお伺いしたときに、今現在の相場を言うのとビックリしてましたから、売るつもりはサラサラなかったということでしょう。で、普段全然腕にしてなかったらしく、ケース全面に金やけが出ました。この金やけというのはですね、金無垢の金以外の素材が酸化して（18Kです）からね、変色してくることなんです。が、普通は10年近くほったらかしにしてないと出てきません。ただしラグの付け根とか触らないところには、使っていないでも出てくる場合があります。ま、軽く拭くと取れるんですが、金やけはあまりいいじられていない証拠でもあります。ワタシなんかはそのまま売ったりもします。

こういった個体は、オリジナルで、コンディションが非常にいい、という古い時計を検証していく上で、一番重要な要素が揃っています。非常にありがたいんですが、まあ、磨いてないやつはベゼルのエッジが立ってんなあとか、中期の6239はこういった風防の形してんだなあとかです。これがオリジナルなんだけれども、ケースが磨かれ過ぎてたり、ダイヤルが焼けちゃってたりしてる個体は、今度は全体の雰囲気を見ていくんです。ケースは痩せちゃってんのにリユウズのエッジだけやけに新品みたいだなあとか、針の夜光と文字盤の夜光が色合ってるねえなあとか、そういった検証もまずはこういったコンディションのいい個体を見ておくと、あとあとの検証が非常にラクになります。パッと見て違和感を覚えなない、オリジナルの程度のいいコンディションの時計のみが放つ、独特のオーラが判ってくるようになるからです。今回のこの個体は、出来るだけ多くの画像と、多くの拡大画像で少しでも皆さんにこの時計のオーラが伝わるという、というレイアウトにしてみました。それでは見ていってみましょうか。

今回の機会なんで、出来るだけ大きい画像で、出来るだけ細かなポイントを拡大してご紹介します。こんなに素性のはっきりしたポールニューマンには、滅多に出会う機会もありますが、よーく見ておいてください。しかし今見てもノンオイスターの金属ベゼルのデイトナは少し小振りに見えて、実際にバランスの取れたデザインに見えるですねえ。ホントに今は見るだけしか出来ないみたいになっちゃってる市場価格が少しサビシイ気がします。

